

スノースポーツの普及・発展を目指す公益法人

公益財団法人神奈川県スキー連盟は、より多くの人々にスノースポーツを体験し愛好していただく為に設立された公益法人です。現在、登録会員数は5,143名、22の地区協会を中心に活動していますが、その活動の目的は、現在全国1000万人、神奈川県100万人といわれているスノースポーツ愛好者のさらなる拡大を目指すことが、私たちの使命なのです。



会長挨拶 公益財団法人神奈川県スキー連盟会長 河野 太郎

みなさまお元気ですか。

SAKがスノースポーツでの感動体験を掲げ公益財団法人に移行して、一年が経ちました。この間、FISマスターズ世界大会での優勝やジャパンパラリンピックでの優勝、ジュニアオリンピックの優勝など、神奈川県のスキーヤーが大活躍しました。

SAKが主催する市町村対抗選手権大会も前年を上回る14市1町から320名の選手が参加し盛大に開催することができました。指導者育成の分野でもわずかながら準指導員の受検者が増加しました。

連盟の運営も、新しい定款も基に諸規定を整備し、それに基づいて各本部および企画会議に権限を委譲して理事会の効率化を図りました。連盟の収支も黒字を維持することができました。

スノースポーツを普及し、感動を広げようとする事業は、「障がいを持つ人のためのスキー教室」「ジュニア 雪とのふれあい行事」「北海道行事」いずれも多くの方々によるさまざまなサポートのおかげで、成功裏に終わりました。

今は、SAKが次の飛躍をするために力をためる時期だと思っています。その間に、こつこつといろいろな準備をしっかりとしておきましょう。

最後に一つだけ、お願いです。各加盟団体、各クラブで、毎年、一人でもよいので会員を増やしていただきたいと思います。グレンデと一緒に感動体験を分かち合える仲間を、毎年、一人ずつ増やせるように日頃の活動を考えてみてください。よろしくお願いいたします。

